

# 畜産茨城

第484号

令和2年5月25日



発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号  
公益社団法人 茨城県畜産協会  
電話 029(231)7501  
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>  
発行人／佐野 治

## 目次

「常陸の輝き」PR	1	令和2年3月市況	6
令和2年度畜産施策方針と重点施策	2	肉用子牛生産者補給金発動状況	6
新任あいさつ	3	令和2年4月市況	7
「宮本守正さん名誉賞」		牛マルキン発動状況	7
3大常陸牛枝肉共励会制覇	5	酪農・畜産物加工体験について	8

常陸の輝きフィレ肉の猟師風



常陸の輝き  
ポットロースト



# 常陸の輝き

Hitachi no Kagayaki 茨城県銘柄



茨城県産ブランド豚肉「常陸の輝き」を是非御賞味下さい。

茨城の生産者が確かな技術で丁寧に育てた豚の中から、確かな目を持った卸業者の目になつた豚だけがその名前を付けられ皆様の前に提供されます。

柔らかく、ジューシーでほんのり甘くスッキリとした「常陸の輝き」は、創成期から助言をいた

だしている東京麻布十番のイタリア料理店ピアットスズキのオーナーシェフ鈴木弥平氏を始め多くの有名シェフから高い評価をいただいています。

写真は、鈴木弥平シェフによる「常陸の輝きフィレ肉の猟師風」と料理家五味幹子氏による「豚肉のポットロースト」です。

いずれも常陸の輝きWebページにレシピが掲載されています。ご覧ください。



地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています

# 令和2年度畜産施策方針と重点施策

茨城県農林水産部 畜産課長 鴨川 修

## 【現状と課題】

昨年度に引き続き、畜産課長として本県畜産の振興に尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、本県の平成30年畜産産出額は、1,227億円と本県の農業産出額の約28%を占める基幹産業となっております。

一方、畜産を取り巻く情勢は、高齢化による担い手の減少や資材価格の高騰等による生産コストの増大、少子高齢化に伴う国内市場の縮小等、本県畜産を取りまく情勢は厳しさを増しており、加えて、TPP11、日EU・EPAや日米貿易協定が発効するなど、様々な国や地域との経済連携協定により急速なグローバル化の進展が見込まれており、このような厳しい状況においても、儲かる畜産経営を実現していくためには、生産性の向上や規模拡大、経営管理技術の高度化による収益性の高い経営体の育成、更なる高付加価値化やブランド化などの取組が求められております。

また、CSFや高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の発生予防やまん延防止、霞ヶ浦流域内での畜産環境対策の徹底などが引き続き重要な課題となっております。

さらに、今年初めから世界的に流行しております新型コロナウイルス感染症につきましても、インバウンド需要の減少や外出自粛などによる外食機会の減少、学校給食の停止等による影響を最小限にするための対応が必要となっております。

## 【対応方針】

こうした状況を踏まえ、県では、儲かる経営体を育成し、本県畜産産業を更に発展させるため、必要となる施策を「生産基盤の強化」「付加価値向上と流通促進」「家畜衛生対策の充実と安全安心な畜産物の生産」「畜産環境対策の充実」「試験研究の推進と指導體制の充実」の5つに体系化し、関係者と連携を図りながら推進してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応につきましても、消費の落ち込みによる影響を緩和するため、県産牛肉等を県内の学校給食の食材として提供するなど、必要に応じてスピード感をもって対応してまいります。

## 【主な重点施策】

### (1)生産基盤の強化

常陸牛のトップブランド化を目指し、和牛繁殖雌牛の増頭や能力向上を支援することで子牛生産から肥育まで一貫した常陸牛の生産体制の構築と高品質化を図る取組を今年度から新たに開始するほか、引き続き、酪農における後継雌牛の確保支援やクラスター事業を活用した畜産経営の規模拡大や生産性向上等による生産基盤の強化を進めてまいります。

### (2)付加価値の向上と流通促進

「常陸の輝き」については、トップブランド化に向けた更なる品質向上について検討を進めるほか、「常陸牛」についてはマーケティング戦略に基づく更なる付加価値向上と国内外への販路開拓を推進します。このほか「ローズポーク」や「奥久慈しゃも」も含め、一層の付加価値向上と更なる販路拡大を支援することとしてまいります。

### (3)家畜衛生対策の充実と安全な畜産物の生産

CSFにつきましても、県内養豚場へのワクチン接種や野生イノシシへの経口ワクチン散布を引き続き実施していくことで県内養豚場での発生を防いでまいります。このほか、飼養衛生管理基準を遵守するよう指導を徹底するとともに、高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の万一の発生に備えて危機管理体制を充実してまいります。

### (4)畜産環境対策の充実

畜産経営の大規模化や地域的偏在が進み、環境に対する県民の関心が高まっている中、環境に配慮した畜産経営が求められていることから、家畜排せつ物の適正管理と利用促進を図るほか、霞ヶ浦流域外への良質堆肥の広域流通や固液分離機の導入支援等、畜産から霞ヶ浦への負荷削減に取り組みます。

### (5)試験研究の推進と指導體制の充実

①ブランド力強化を支える新品種・新技術の開発②環境にやさしい資源循環型畜産及び地球温暖化対策等を支える技術の開発③受精卵移植等の先端技術の開発と利活用及び国産飼料を活用した低コスト生産技術の開発を3本柱として試験研究を推進し、農業総合センター及び国立研究開発法人研究機関等の試験研究機関並びに大学、行政機関、関係団体、民間等とも連携し

ながら試験研究の効率化や高度化を図ってまいります。

また、今年度から県内5か所の農林事務所に、

畜産振興課を新たに設置致しましたので、今後は個別農家への経営指導と事業推進を一体的に進めてまいります。

## 新任あいさつ

茨城県県北家畜保健衛生所 川上 純子 

この度の定期人事異動により、県北家畜保健衛生所長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

一昨年9月に岐阜県の養豚場で国内26年ぶりに豚熱（CSF）が発生し、令和2年3月13日までに8県58事例の発生が確認されました。野生イノシシでは、4月に入り新たに新潟県、京都府を含む14県で感染が確認されております。

そのような中、本県では、発生を予防するために2月17日からCSFワクチン全頭接種を県西地域から開始し、県南、県北、鹿行地域と順調にすすめ、全頭接種が終了した各地域から子豚の追加接種を始めています。また、野生イノシシについては、CSF検査及びアジア地域において感染が拡大しているアフリカ豚熱（ASF）検査を積極的に実施し陰性確認を行っております。

一方、東アジア地域では、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザなどの特定家畜伝染病が継続的に発生しています。なかでも、ASFは中国、ベトナム、韓国等東アジアで猛威を振るっており、訪日外国人の増加や物流のグローバル化の進展により、海外からの畜産物の持ち込みによる伝染病の侵入リスクは増加しています。今後

益々、発生国への渡航の自粛、他の農場等への不用意な訪問の自粛、出入口での消毒徹底等、病原体の侵入防止対策等、飼養衛生管理基準の遵守が重要となります。

今年は宮崎県で口蹄疫が発生してから10年目。万が一、口蹄疫が発生すれば地域への影響は大きく、畜産の存続に関わることになる想定されます。一方、世界を震撼させている新型コロナウイルス感染症は、畜産物の価格低迷などの影響を及ぼしており、今後は家畜伝染病のみならず人の感染症や災害による畜産業へ影響も懸念されます。そのため、様々な事象に対する危機意識を常にもち、災害対策はもとより、家畜伝染病の発生予防対策を徹底することが重要と考えます。

県北家畜保健衛生所といたしましては、過去に発生した家畜伝染病や豪雨災害時等の防疫対応を教訓に、生産者の皆様、関係団体、市町村と連携を図り、地域一体となった防疫体制を構築するために、迅速かつ的確な防疫対応、情報収集、検査体制の整備に取り組んでまいりますので、関係者皆様のご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 新任あいさつ

茨城県鹿行家畜保健衛生所長 須永 静二 

この度の人事異動で、鹿行家畜保健衛生所長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

ご承知のとおり、一昨年9月に岐阜県において、国内で26年ぶりに発生した豚熱（CSF）は、これまでに8県（58例）で農場発生が確認され、また、野生いのししでの感染確認地域は現在も拡大している状況です。このため、国はワクチン接種推奨地域を設定し、全国飼養頭数の約四分の一を占める関東地域でも予防的ワクチン接種が開始されたところです。

本県におけるCSFワクチン一斉接種は、5月上旬には全県で接種が終了する予定です。鹿行地域は本県の飼養頭数の約4割を占め、全国的にも有数の養豚地帯であり、この地域での本病発生は本県のみならず全国的な規模で養豚生産に影響を及ぼすことは必至で、そのためにも今回の予防的ワクチン接種は必要な対策であり、関係者の皆様方の迅速なご対応に感謝申し上げます。

一方、海外においては、中国及び東南アジア等でアフリカ豚熱（ASF）の感染が拡大してお

り、万一国内へ侵入した場合、CSF同様に野生いのししを介して感染拡大することが懸念されています。かつ、CSFのように有効なワクチンも無いことから、本病から飼養豚を守るためには、野生いのししを含めた野生動物の農場侵入防止対策として防護柵の設置が緊急の対策になります。

本県では、飼養豚へのワクチン接種及び防護柵の設置のほか、野生いのししへの経口ワクチン散布を加えて、CSF・ASF防疫対策の3本柱としていますが、他にも特定家畜伝染病である口蹄疫或いは高病原性鳥インフルエンザについて近隣諸国などの発生状況を見る

と、いつ国内に侵入してもおかしくない状況が続いています。

これらの家畜伝染病から農場を守るためには、生産者のみならず、関係団体及び市町村の皆様方が一体となって飼養衛生管理基準の遵守に努め、病原体を絶対に農場に入れないという徹底した対応が大変重要となります。

家畜保健衛生所としては、地域の畜産経営が安定して発展できるよう家畜伝染病の検査業務や飼養衛生管理基準の遵守指導等に努めて参りますので、関係者の皆様方のご理解、ご協力をお願いいたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



## 新任あいさつ

茨城県県西家畜保健衛生所長 石井 正人



令和になって初めての人事異動で県西家畜保健衛生所長として赴任いたしました。当所は、3度目5年振りの勤務となります。どうぞよろしくをお願いいたします。

昨年は、県北家畜保健衛生所に勤務しております茨城国体の馬事衛生本部の運営、台風により川に流された牛の被害対応、豚熱の全頭ワクチン接種など家畜保健衛生所の例年にはない業務が多くあり、これらの業務を適切に行うには、早い段階からそれぞれの関係者や機関と連携して相談して進めていくことが重要であると感じた年でありました。

特に、昨年2月から始まった豚熱の全頭ワクチン接種では、畜産課関係機関の他に各農林事務所や保健所から多くの職員の協力により県内の飼養豚全頭への接種が開始することが出来ました。この場をお借りしてご協力頂いた関係機関、関係者の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。この全頭接種は5月には終了する予定となっておりますが、これからも生まれてきた子豚へのワクチン接種は継続して実施いたしますので、臨床獣医師の方のご協力を得ながら家畜保健衛生所一丸となって進めてい

きたいと考えております。

一方、ヒトの新型コロナウイルスの感染拡大により世界中で外出が自粛されている影響で、家畜伝染病の侵入に大きく影響する人の動きは少なくなっているものの、口蹄疫をはじめアフリカ豚熱や高病原性鳥インフルエンザの近隣諸国での発生をみると国内に侵入するリスクは依然として高い状況が続いております。また、年度末には家畜伝染病予防法が改正され、関係者の責務、アフリカ豚熱の予防的殺処分の実施などが新たに規定されております。

このように、日々変化する疾病の発生状況などに応じて、農家の皆さんをはじめ我々畜産関係者も変化しながら、その変化に応じて適切に対応することが求められています。当所としましては、日頃から家畜衛生情報の収集に努め、迅速かつ確かな防疫対応をとるよう、積極的に取り組んでまいります。また、畜産農家の皆様には、防護柵の設置などによる疾病の侵入防止、早期発見と通報、飼養衛生管理基準の遵守をお願いするとともに、関係者の皆様方には今後ともご理解、ご協力をお願いいたしまして、新任の挨拶といたします。



## 新任あいさつ

茨城県畜産センター肉用牛研究所長 舘野 英喜



この度の人事異動により、肉用牛研究所長を拝命いたしました。

どうぞよろしくをお願いいたします。

肉用牛を取り巻く情勢は、TPP11をはじめとする新たな貿易協定の進展などの影響もあり、生産基盤の強化や国際的な競争力が求めら

れているところです。

本県におきましても常陸牛のより一層のブランド力向上や生産基盤である和牛繁殖雌牛の大幅な増頭への取組みが推進されているところです。

当所におきましては、常陸牛の資質向上の基礎となる種雄牛の造成に継続して取り組んでおり、現在の主体となっております「北国関7」、「茂光洋」、「北平5」、「日出丸105」に加え、肉質、増体共に優れる「塙安福」の精液譲渡を行っているところです。今後も肉質や増体に優れた種雄牛の改良造成に一層努め、和牛繁殖農家や常陸牛生産者の方々に広く活用していただけるよう積極的な情報提供とPRを展開してまいります。

併せて繁殖雌牛増頭の取組みに寄与できる技

術の開発、普及に向けて、水田や耕作放棄地で活用が想定される放牧用草種の検討や選定を進め、周年放牧管理技術の確立などの省力化への取組みを進めていくと共に、早期母子分離・人工哺乳による子牛育成技術の確立に取り組み、分娩間隔の短縮による子牛生産体系の検討を進めてまいります。

また、「牛肉のおいしさ向上」に関する取組みとして、黒毛和牛の部分肉での「ウェットエイジング技術を活用した食味等への効果」を科学的に検証する試験を行っており、常陸牛の流通販売の場面における活用の可能性についても検討を進めていきたいと考えております。

今後とも、生産、消費の現場ニーズに対応した試験研究に努めてまいりますので、一層のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

## 「宮本守正さん名誉賞 3大常陸牛枝肉共励会制覇」

全農茨城県本部

茨城県食肉流通振興会主催の「第31回茨城県肉牛枝肉共励会」が4月2日に茨城県中央食肉公社で開催されました。上場頭数は、黒毛和種91頭、交雑種15頭の合計106頭が上場し、宮本守正さん（つくば市）の去勢牛が最高位の名誉賞に輝きました。枝肉重量



532キロ、ロース芯面積99平方センチ、脂肪交雑（BMS）ナンバー12、枝肉単価3,003円/キロ（税抜き）の素晴らしい成績を修めました。2日の同公社の枝肉相場は東京食肉市場市況との比較で、黒毛和種A4等級51円、A5等級189円と高値取引となりました。和牛相場は新型コロナウイルス感染拡大による影響で、訪日外国人の減少や外出自粛等の対策により、外食需要が急激に落ち込み急落、下落が続き肥育農家の経営は悪化していますが、公社の販売努力と買参人の協力により生産者の思いが実った結果となりました。



名誉賞に選ばれた宮本さんは「この名誉賞を取るためにここまで頑張ってきた。これで3大常陸牛共励会



（※）を制覇できたので感無量」と話しました。直近過去5年間を振り返りましても、3大枝肉共励会を制した生産者は宮本さんが初めてとなる素晴らしい結果です。

宮本さんの枝肉はJA全農いばらき食肉センターが競り落としました。4月18日からは、JA全農いばらきが運営する「ポケットファームどきどき」の茨城町店と牛久店で名誉賞の牛肉が販売されました。

（※）3大常陸牛枝肉共励会とは、4月に同公社で開催する茨城県食肉流通協会主催の「茨城県肉牛枝肉共励会」、12月に同公社で開催する茨城県肉用牛振興協会主催の「茨城県肉用牛共励会」、3月に東京で開催する茨城県常陸牛振興協会主催の「茨城県常陸牛枝肉共励会」を指します。

# 令和2年3月市況

## 子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
4	一般子豚 ベビー豚	11	23,100	23,100	23,100	50
		215	24,200	20,240	22,591	35
18	一般子豚 ベビー豚	0				50
		70	28,600	22,880	27,298	35

## 牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)	
14	和牛	♀ ♂ 去計	79	893,200	311,300	559,009	295	1,896	
			0						
			110	990,000	369,600	682,060	314	2,174	
	189	990,000	311,300	630,626	306	2,062			
		経産	4	407,000	253,000	337,150	-	-	
F1	♀ ♂ 去計	0							
		0							
		0							

## 食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日										牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)								屠畜頭数									
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛										
豚	13,946.0	79.2	829	455	425	390	325	413	27,004	749.5										
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)												
和牛	A	135	477.7	2,399	1,923	1,707	962	-	1,930											
	B	22		164	-	1,809	1,404	938		582										
	C	7		-	-	1,296	577	677												
乳牛	A	-	309.2	-	-	-	-	-	616											
	B	2		125	-	-	-	680		540										
	C	123		-	-	-	664	583												
交雑牛	A	16	517.6	1,726	1,612	1,511	1,249	-	1,356											
	B	42		66	1,839	1,608	1,407	1,084		-										
	C	8		-	-	959	842	659												

3月の市況は3月集計数値を4月上旬に掲載します。

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)	
16	和牛	♀ ♂ 去計	43	609,400	215,600	466,425	266	1,747	
			0						
			44	903,100	458,700	635,775	289	2,197	
		87	903,100	215,600	552,073	278	1,984		

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日	5, 9, 15, 19, 25, 29					
	畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)
乳牛	スモール	♀ ♂ 去計	6	154,000	4,400	82,317
			139	195,800	1,100	111,053
			1	88,000	88,000	88,000
			146	195,800	1,100	109,714
F1	スモール	♀ ♂ 去計	56	231,000	36,300	176,648
			81	314,600	33,000	212,327
			0			
			137	314,600	33,000	197,743
F1	子牛	♀ ♂ 去計	2	264,000	242,000	253,000
			0			
			0			
			2	264,000	242,000	253,000
F1	1歳	♀ ♂ 去計	1	233,200	233,200	233,200
			0			
			1	233,200	233,200	233,200
			1	233,200	233,200	233,200
黒毛和種	スモール	♀ ♂ 去計	0			
			1	158,400	158,400	158,400
			0			
			1	158,400	158,400	158,400
	子牛	♀ ♂ 去計	11	545,600	499,400	517,000
			2	522,500	442,200	482,350
			13	663,300	602,800	631,400
			26	663,300	442,200	571,535
3歳以上	♀ ♂ 去計	3	688,600	200,200	370,333	
		0				
		3	688,600	200,200	370,333	

## 肉用子牛生産者補給金発動状況

令和元年度第4四半期(2020年1~3月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円/頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	718,900	583,500	243,900	249,100	425,400
補給金単価	-	-	75,190	-	-

# 令和2年4月市況

## 子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
1	一般子豚	0				50
	ベビー豚	142	25,300	23,760	24,518	35
15	一般子豚	10	30,690	30,690	30,690	50
	ベビー豚	213	28,930	21,120	26,549	35
28	一般子豚	0				
	ベビー豚	188	27,060	20,130	24,735	35

## 食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉：毎週月曜日、木曜日					
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数			
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	13,023.5	79.8	611	614	601	575	443	569	27,249	689.0
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A	226	250	499.1	2,284	1,783	1,454	767	-	1,918
	B	19			1,612	1,517	1,363	982	588	
	C	5			-	-	1,188	-	594	
乳牛	A	-	172	308.3	-	-	-	-	-	597
	B	10			-	-	-	610	648	
	C	162			-	-	-	635	573	
交雑牛	A	29	98	506.1	1,425	1,393	1,240	1,066	-	1,202
	B	53			1,999	1,323	1,234	901	-	
	C	16			-	1,305	981	866	-	

## 牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	72	833,800	228,800	513,364	294	1,749
		♂	0					
		去計	117	850,300	392,700	849,837	317	2,051
		経産	189	850,300	228,800	597,847	308	1,941
		経産	0					
	F1	♀	0					
		♂	0					
		去計	0					

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
なし	和牛	♀						
		♂						
		去計						

開催なし

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	7	205,700	22,000	141,114
		♂	94	191,400	24,200	131,555
		去計	2	117,700	44,000	80,850
		去計	103	205,700	22,000	131,220
乳牛	子牛	♀	1	172,700	172,700	172,700
		♂	1	52,800	52,800	52,800
		去計	0			
		去計	2	172,700	52,800	112,750
F1	スモール	♀	52	254,100	88,000	188,862
		♂	55	324,500	121,000	239,880
		去計	0			
		去計	107	324,500	88,000	215,086
F1	子牛	♀	5	238,700	115,500	186,780
		♂	1	210,100	210,100	210,100
		去計	0			
		去計	6	238,700	115,500	190,667
黒毛和種	スモール	♀	1	374,000	374,000	374,000
		♂	3	528,000	228,800	398,933
		去計	0			
		去計	4	528,000	228,800	392,700
黒毛和種	子牛	♀	11	603,900	331,100	527,300
		♂	2	497,200	443,300	470,250
		去計	8	647,900	614,900	628,788
		去計	21	647,900	331,100	560,529

## 牛マルキン発動状況

販売月	支払区分	肉専用種	交雑種	乳用種
令和2年3月	確定単価	177,220.8円	116,715.6円	54,562.5円
	概算払単価	44,408.7円	24,121.8円	39,319.2円
令和2年2月	確定単価	40,408.7円	20,121.8円	35,319.2円
	概算払単価	1,253.7円	-	47,339.1円
令和2年1月	確定単価	-	-	43,339.1円
	概算払単価	-	-	-

(注)

四半期の最終月以外については、交付金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをしています。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、消費税抜きで算定されています。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)ー新型コロナウイルス感染症対応ー

(1) 生産者負担金の納付猶予

令和2年4月末から納付期限を迎える全ての登録肉用牛について当面の間、生産者負担金の納付が猶予されます。猶予対象牛の実際に受け取る交付金額はおよそ4分の3となります。

(2) 算定方法の見直し

令和2年5月支払い分(令和2年3月販売分)から交付金の算定方法が変わります。

① 算定区域の見直し：標準的販売価格及び標準的生産費の算出について、今までの県別からブロック毎になります。

② もと畜費の見直し：もと畜費の算出に使用している「肉用子牛取引情報」について、近年の子牛の大型化が進む中、同情報のデータが340kg以下に限定されていることから実態が反映されていなかった。そこで体重制限を無くし日齢を182日から365日に変更し、より実態に即した素畜費となるようになりました。

## はじめに

茨城県畜産センターでは、家畜や畜産物に対する関心や理解を深めるために、県民の皆さまを対象に酪農体験や畜産物加工体験を実施しています。また、昨年からは当センターに来られない方のために出前講座を開始しました。

### 酪農体験

酪農体験では、酪農という仕事や牛との接し方などについて学び、体験します。

#### 牛のエサやり

牛に牧草をあげます。子供たちは、最初牛の大きさにびっくりして怖がっていますが、次第に上手に牧草をあげることができるようになります。



#### 模擬搾乳体験

乳頭を搾ると水が出る牛の模型を使って、乳搾りを体験することができます。牛は実物大なので、大きさを体感することもできます。



### 畜産物加工体験

畜産物加工体験では、バター、アイスクリームなどの乳製品や豚挽肉を使ったソーセージ作りが体験ができます。



### おはなし

紙芝居や実物大の牛の絵を使い、牛の身体や、乳製品についてのお話やクイズをします。

### 出前講座

当センターに来るのが難しい方のために、昨年からはセンター職員が会場に伺い実施する、出前講座がはじまりました。



## 申し込み方法

R 2. 4月現在、**新型コロナウイルスの影響により受入れを自粛しております。**  
再開のめどがたちましたら、お知らせいたします。

- ・当センターのホームページ等をご確認のうえ、体験内容をお電話にてご相談ください。
- ・日程や体験内容等を確認させていただきます。(日程は先着順です)
- ・申込書をFAXにて送ってください(様式はホームページからダウンロードできます)  
(☎: 0299-43-3333 (代表) 各種問い合わせ先: 畜産センター 企画情報室まで)

茨城県が誇る、霜降り牛肉

常陸牛  
ひたちぎゅう

茨城県銘産物

奥久慈  
しゃも

奥久慈しゃも生産組合

〒319-3523 茨城県久慈郡大子町袋田3723  
TEL / 0295-72-4250  
FAX / 0295-72-2944

## 県内唯一の食肉地方卸売市場 株式会社 茨城県中央食肉公社

代表取締役社長 小野 寺 俊

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975

TEL / 029 (292) 6811 (代)

FAX / 029 (292) 6895

H P / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)  
牛枝肉 (毎週月・木曜日)

## 公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032

- 当協会に対する意見・要望  
Eメール [info@ibaraki.lin.gr.jp](mailto:info@ibaraki.lin.gr.jp)
- 本紙への掲載「催事・各種情報」  
Eメール [chikusan@ibachiku.com](mailto:chikusan@ibachiku.com)
- ホームページ  
<http://ibaraki.lin.gr.jp>